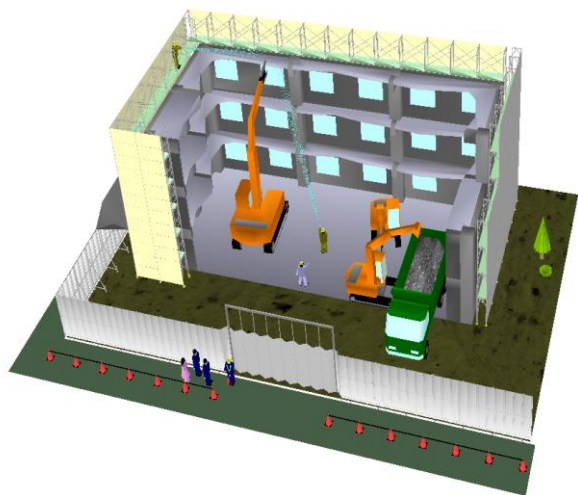


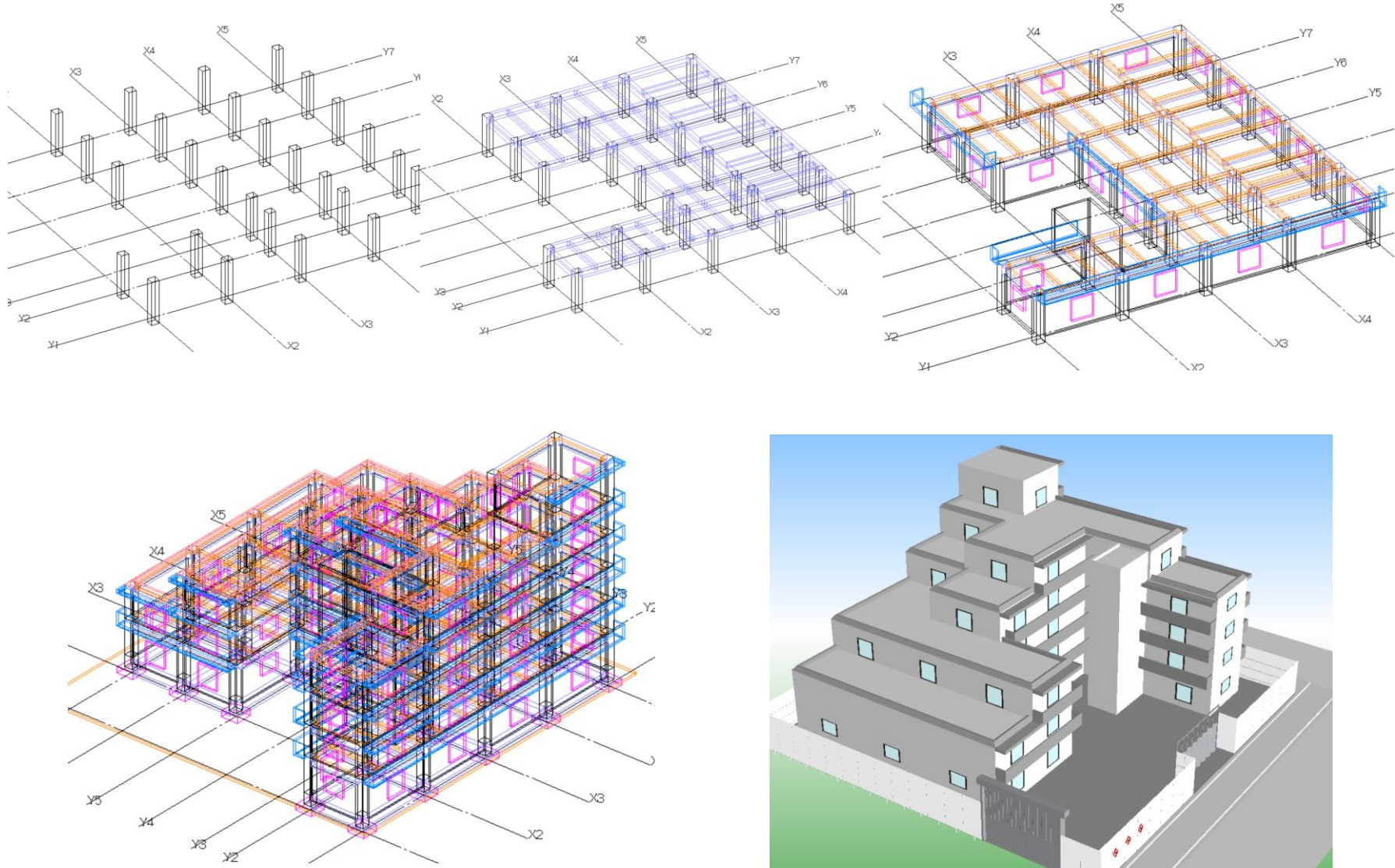
解体業パッケージのご案内

※構造体入力ビルイメージ、外形イメージ、住宅イメージ



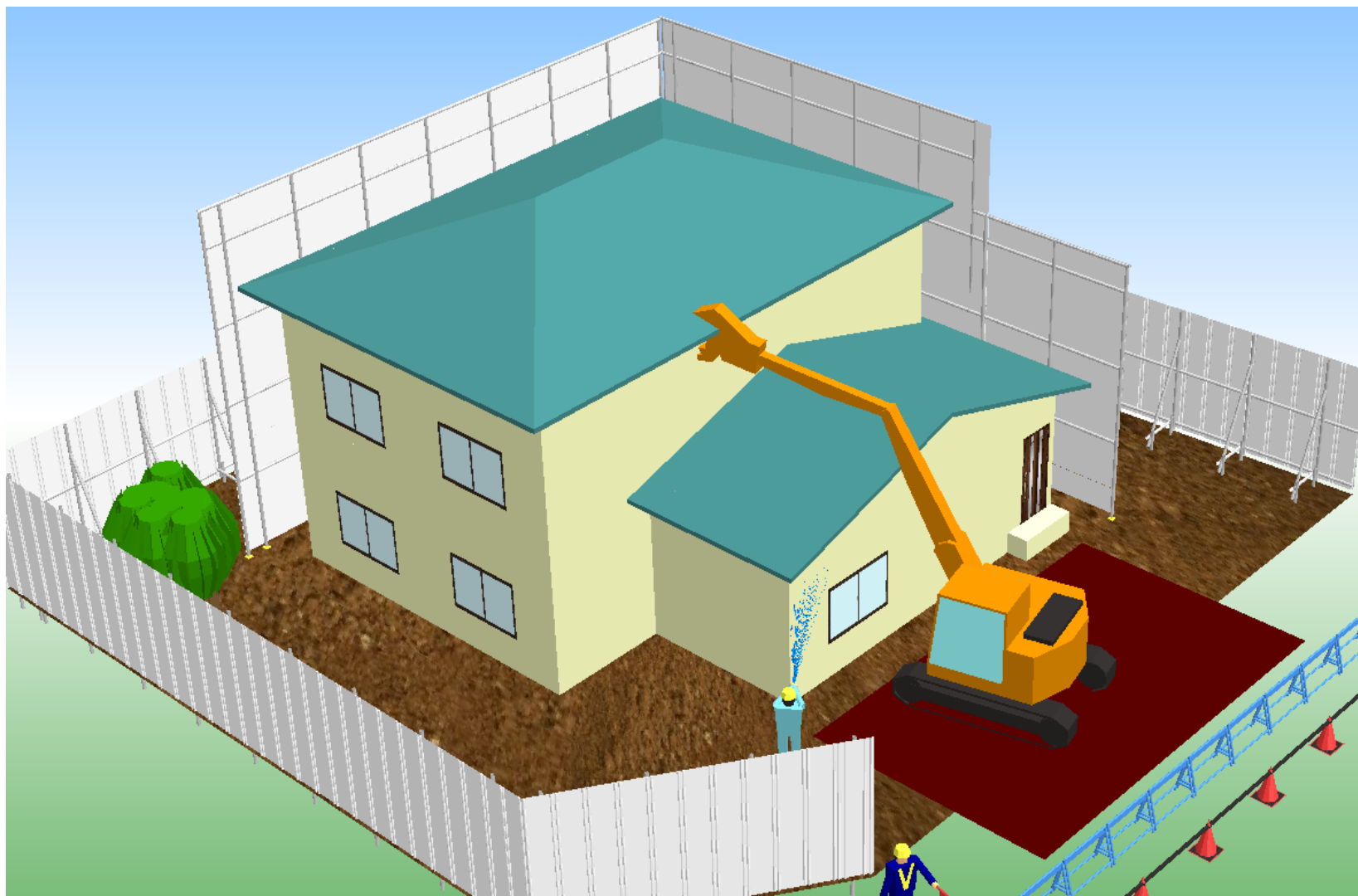
解体業パッケージでは

柱・梁・壁・スラブなどの、構造体を配置し、リアルに表現できます。



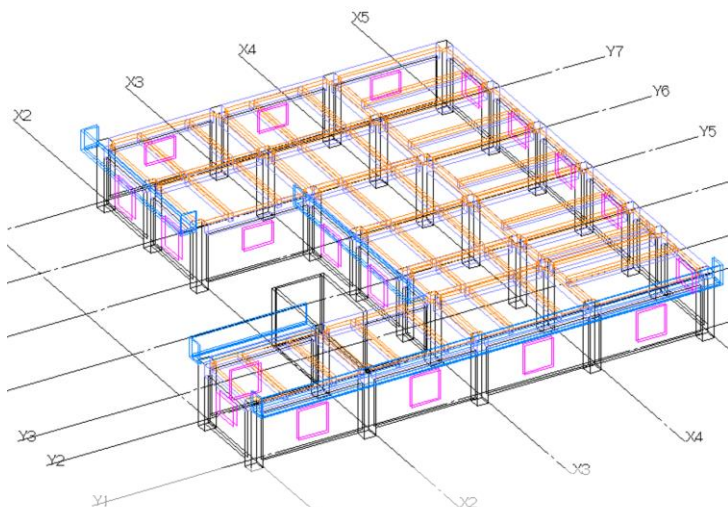
解体業パッケージでは

簡易的な表現で住宅イメージも可能です



解体業パッケージでは

配置部材のコンクリート立米数を集計することも可能です。

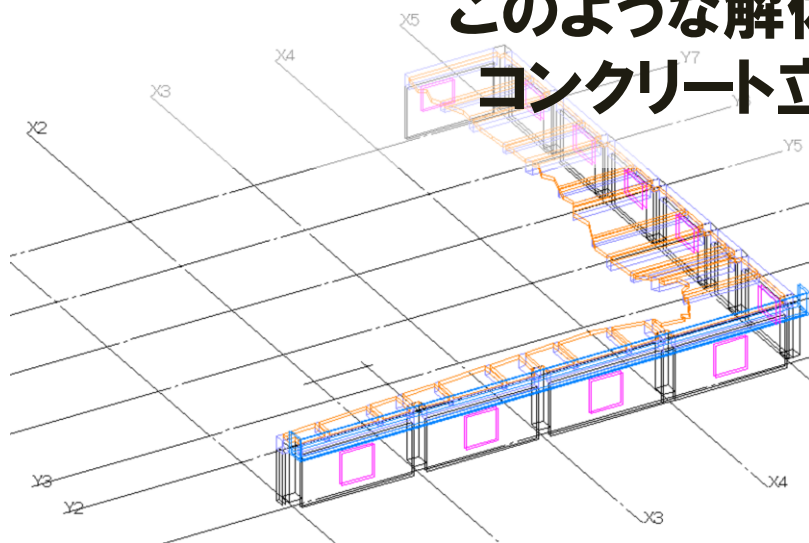


積算資料一覧

積算項目	数量
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
[壁型枠 階別計]	631.628
ベランダ/コンクリート	
CS1	3.435
CS1	3.695
CS1	2.291
CS1	8.842
[ベランダコンクリート 階別計]	18.263
ベランダ/型枠	
CS1	50.345
CS1	32.103
CS1	28.084
CS1	125.405
[ベランダ型枠 階別計]	285.937
1 階コンクリート合計	296.252
[1 階全枠合計]	2002.297

ファイル出力 印刷 終了

このような解体切き欠きイメージの作成、
コンクリート立米数の集計も可能です。



積算資料一覧

積算項目	数量
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
AW2 (開口)2x1.8x1.3	-4.680
AW2 (開口小口)2x0.18x(1.8+1.3)	1.116
[壁型枠 階別計]	275.836
ベランダ/コンクリート	
CS1	8.842
[ベランダコンクリート 階別計]	8.842
ベランダ/型枠	
CS1	125.405
[ベランダ型枠 階別計]	125.405
1 階コンクリート合計	105.597
[1 階全枠合計]	771.470

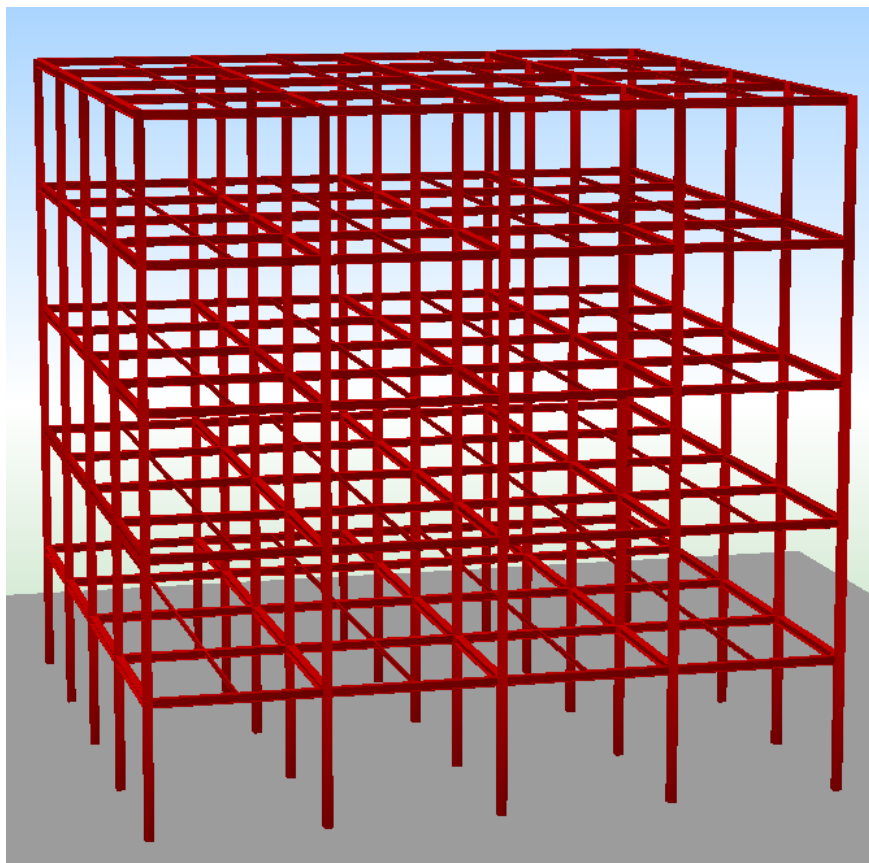
ファイル出力 印刷 終了

解体業パッケージでは

鉄骨部材(コラムやH鋼)の配置や重量集計も可能です。

※ブレスやプレート等の部材は無し

建物イメージ



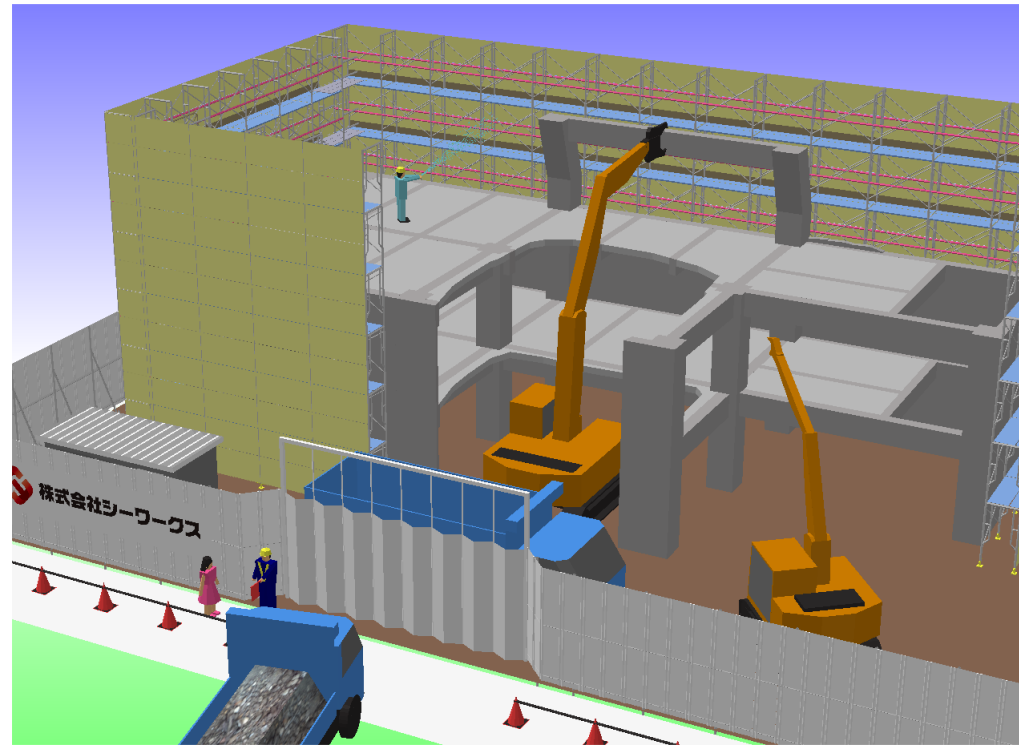
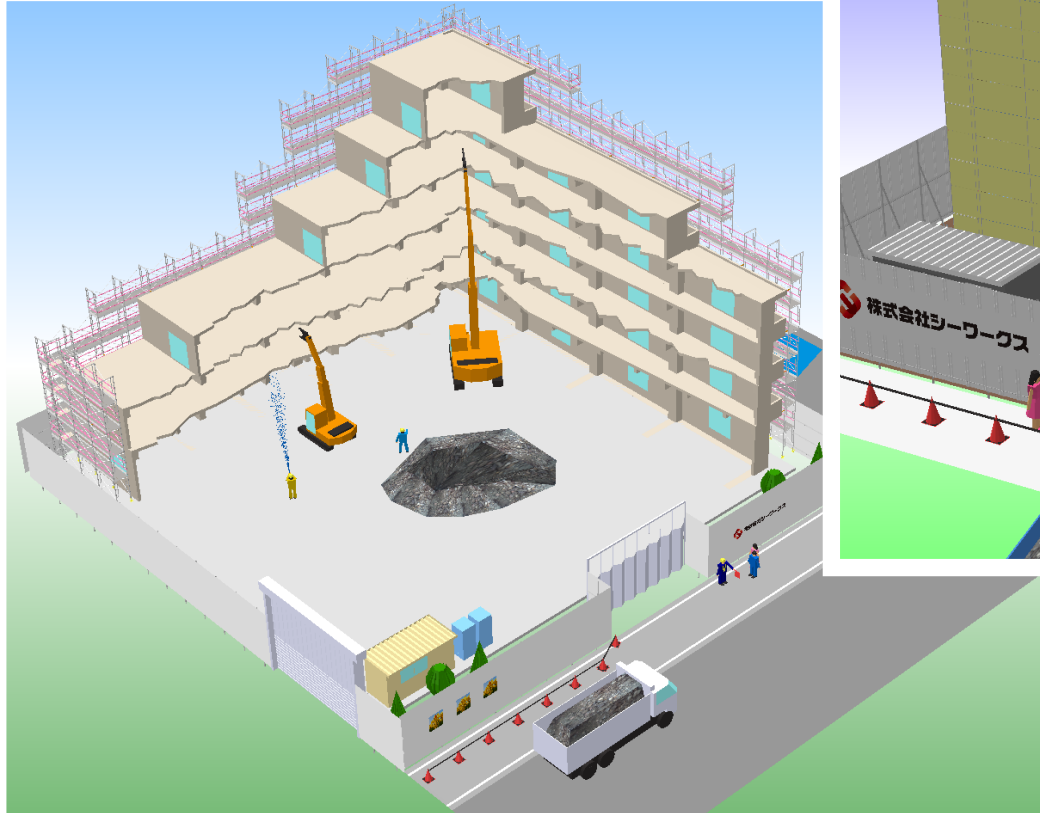
数量集計イメージ

積算資料一覧	
積算項目	数量
柱／鉄骨	
角形鋼 C1...250×250×10 [45.2kg/m] 4.000m 25本	4.520
4 階 [柱鉄骨 階別計]	4.520
梁／鉄骨	
H形鋼 G1...250×250×10×10 [71.8kg/m] 4.750m 40本	13.642
H形鋼 B1...150×75×10×10 [14.0kg/m] 4.750m 16本	1.064
4 階 [梁鉄骨 階別計]	14.706
☆☆ 5 階 鉄骨積算資料 ☆☆	
柱／鉄骨	
角形鋼 C1...250×250×10 [45.2kg/m] 4.000m 25本	4.520
5 階 [柱鉄骨 階別計]	4.520
梁／鉄骨	
H形鋼 G1...250×250×10×10 [71.8kg/m] 4.750m 40本	13.642
H形鋼 B1...150×75×10×10 [14.0kg/m] 4.750m 16本	1.064
5 階 [梁鉄骨 階別計]	14.706
☆☆ R 階 鉄骨積算資料 ☆☆	
☆☆ 鉄骨集計積算資料 ☆☆	
[鉄骨柱合計]	22.600
[鉄骨梁合計]	73.530

ファイル出力 印刷 終了

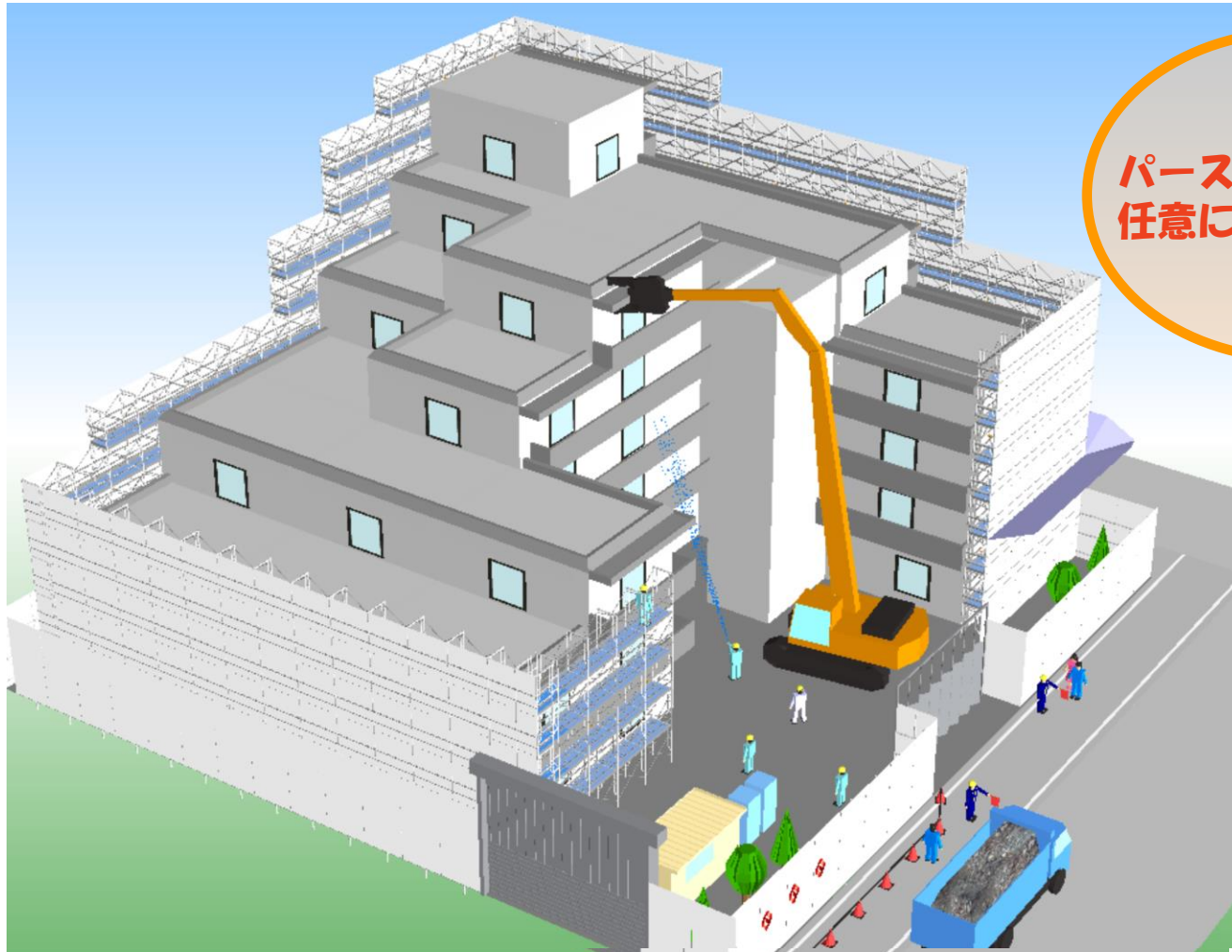
解体業パッケージでは

解体途中の様子を、リアルに作成できます。



解体業パッケージでは

足場や仮囲い、重機の配置を行い、解体ステップ図、
総合的な解体施工計画図面の作成も可能です。



パースの色や角度は
任意に指定できます

解体業パッケージ

ステップ図イメージ①

① 準備工事・家屋調査・仮囲い・工事事務所等整備



② 仮設養生足場組立（防音パネル）



③ 石綿含有建材撤去・内装解体工事



- 枠組+防音パネルで養生足場を組立

- 石綿含有建材は噴霧器で湿潤し、なるべく原型の状態撤去を行う。他の産廃とは混在させない。
- 内装材を廃材ごとに分別解体し、搬出する。
- 2階の廃材はベランダから積み込み、1階の廃材は外部へ出し、人力又は、重機を使用して積み込み。

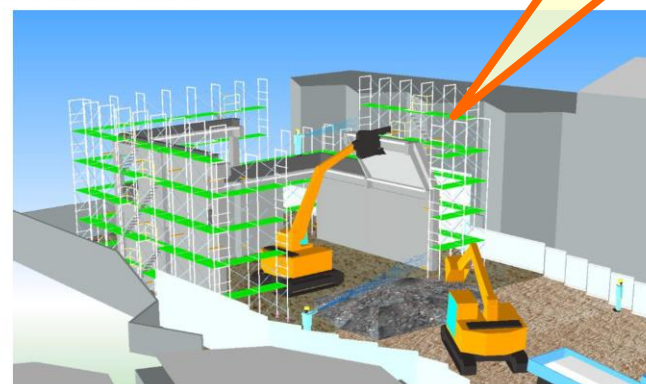
④ 上屋解体Ⅰ（中央部解体）



- 北面から解体を進め、外周部の柱、梁、壁、スラブ（一部）を残し、中央部を解体。
- 散水養生は2箇所以上で行う

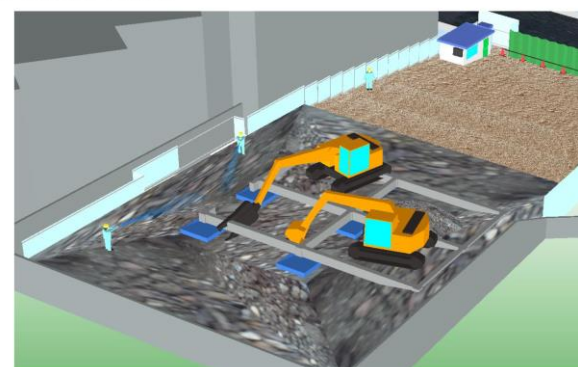
**壁倒し
イメージも
可能！**

⑤ 上屋解体Ⅱ（壁解体）



- 2階壁解体時は、2階梁・スラブを1.5m程度残し、落下防止として倒し込む。
- 1階壁解体時は、解体したコンクリートに均し、壁を倒し込む
- 散水養生は2箇所以上で行う

⑥ 土間基礎、外構解体



- 地中梁、基礎周囲の土を掘削し、躯体を圧砕にて解体を行う。
- 圧砕が困難な場合はジャイアントブレイカーを使用して、解体を行う。（監督員と協議の上、決定）
- 散水養生は2箇所以上で行う

解体業パッケージ ステップ図イメージ②

簡易的表現でも
解体イメージは
伝わります

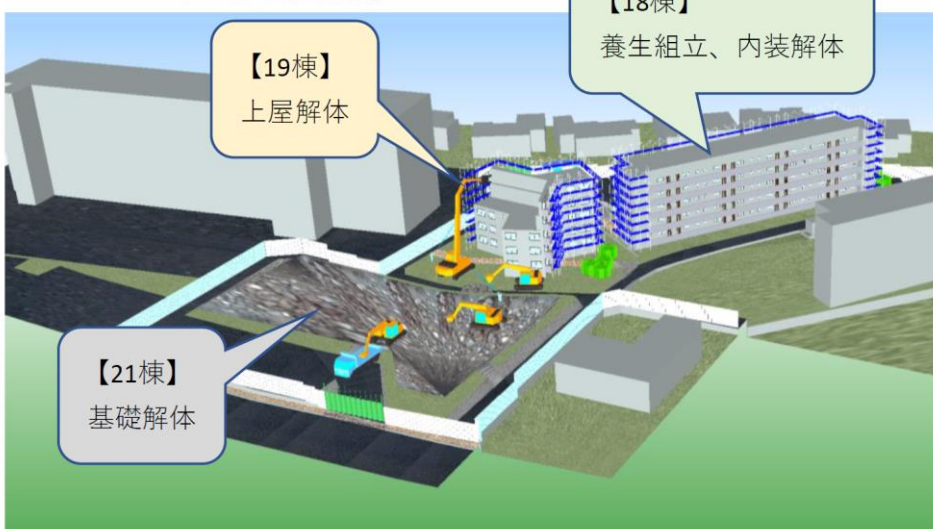
STEP 1 (仮囲い、養生足場組立、内装解体)



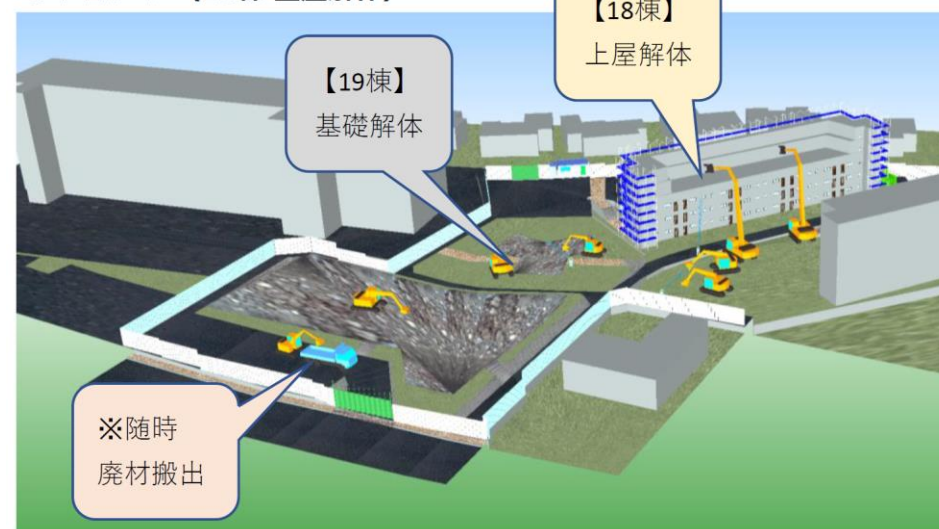
STEP 2 (21棟 上屋解体)



STEP 3 (19棟 上屋解体)



STEP 4 (18棟 上屋解体)

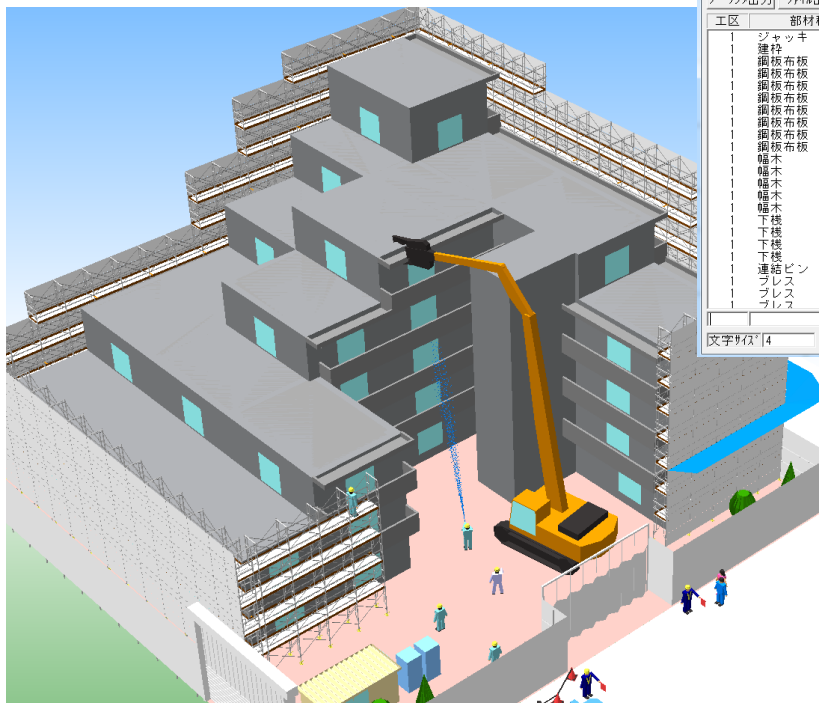


足場の数量集計、掛け平米集計機能

足場部材の数量や足場の掛け平米を
クリックするだけで集計することが可能です。

お見積にも
お役立ていただけます

足場イメージ



数量集計イメージ

数量集計一覧							
工区	部材種名	部材名	数量	単重量 Kg	単価	基本料金	総重量 (Kg)
1	ジャッキ	A752	124	3.7			458.8
1	建棒	A-3055A	478	13.6			6500.8
1	鋼板布板	BKN324	14	5.3			74.2
1	鋼板布板	BKN424	4	6.4			25.6
1	鋼板布板	BKN524	10	7.5			75.0
1	鋼板布板	BKN624	357	9.1			3248.7
1	鋼板布板	SKN3	14	9.1			127.4
1	鋼板布板	SKN4	4	11.3			45.2
1	鋼板布板	SKN5	10	13.6			136.0
1	鋼板布板	SKN6	357	17.6			6283.2
1	幅木	H1219	8	3.3			26.4
1	幅木	H1524	20	3.9			78.0
1	幅木	H1829	695	4.4			3058.0
1	幅木	H814	120	2.8			336.0
1	幅木	MR600	362	2.3			832.6
1	下鉄	GR1219	16	1.2			19.2
1	下鉄	GR1524	40	1.5			60.0
1	下鉄	GR1829	1390	1.8			2502.0
1	下鉄	GR914	110	0.9			99.0
1	連結ピン	A20	956	0.5			487.1
1	プレス	A012	18	2.9			52.2
1	プレス	A11	22	3.7			81.4
1	プレス	A13	10	3.3			33.0
1	プレス	A14	801	4.2			3364.2
1	管束	C0800	82	2.4			196.8
1	管束	A399	98	0.9			88.2
1	防音材	防音PSL	884	8.1			7160.4

部材集計印刷イメージ(一部)

工区	品名	部号	数量	単重量	リース料	基本料	重量
1	ジャッキ	A752	124	3.7			458.8
1	建棒	A-3055A	478	13.6			6500.8
1	鋼板布板	BKN324	14	5.3			74.2
1	鋼板布板	BKN424	4	6.4			25.6
1	鋼板布板	BKN524	10	7.5			75.0
1	鋼板布板	BKN624	357	9.1			3248.7
1	鋼板布板	SKN3	14	9.1			127.4
1	鋼板布板	SKN4	4	11.3			45.2
1	鋼板布板	SKN5	10	13.6			136.0
1	鋼板布板	SKN6	357	17.6			6283.2
1	幅木	H1219	8	3.3			26.4
1	幅木	H1524	20	3.9			78.0
1	幅木	H1829	695	4.4			3058.0
1	幅木	H814	120	2.8			336.0
1	幅木	MR600	362	2.3			832.6
1	下鉄	GR1219	16	1.2			19.2
1	下鉄	GR1524	40	1.5			60.0
1	下鉄	GR1829	1390	1.8			2502.0
1	下鉄	GR914	110	0.9			99.0
1	連結ピン	A20	956	0.5			487.1
1	プレス	A012	18	2.9			52.2
1	プレス	A11	22	3.7			81.4
1	プレス	A13	10	3.3			33.0
1	プレス	A14	801	4.2			3364.2
1	管束	C0800	82	2.4			196.8
1	管束	A399	98	0.9			88.2
1	防音材	防音PSL	884	8.1			7160.4

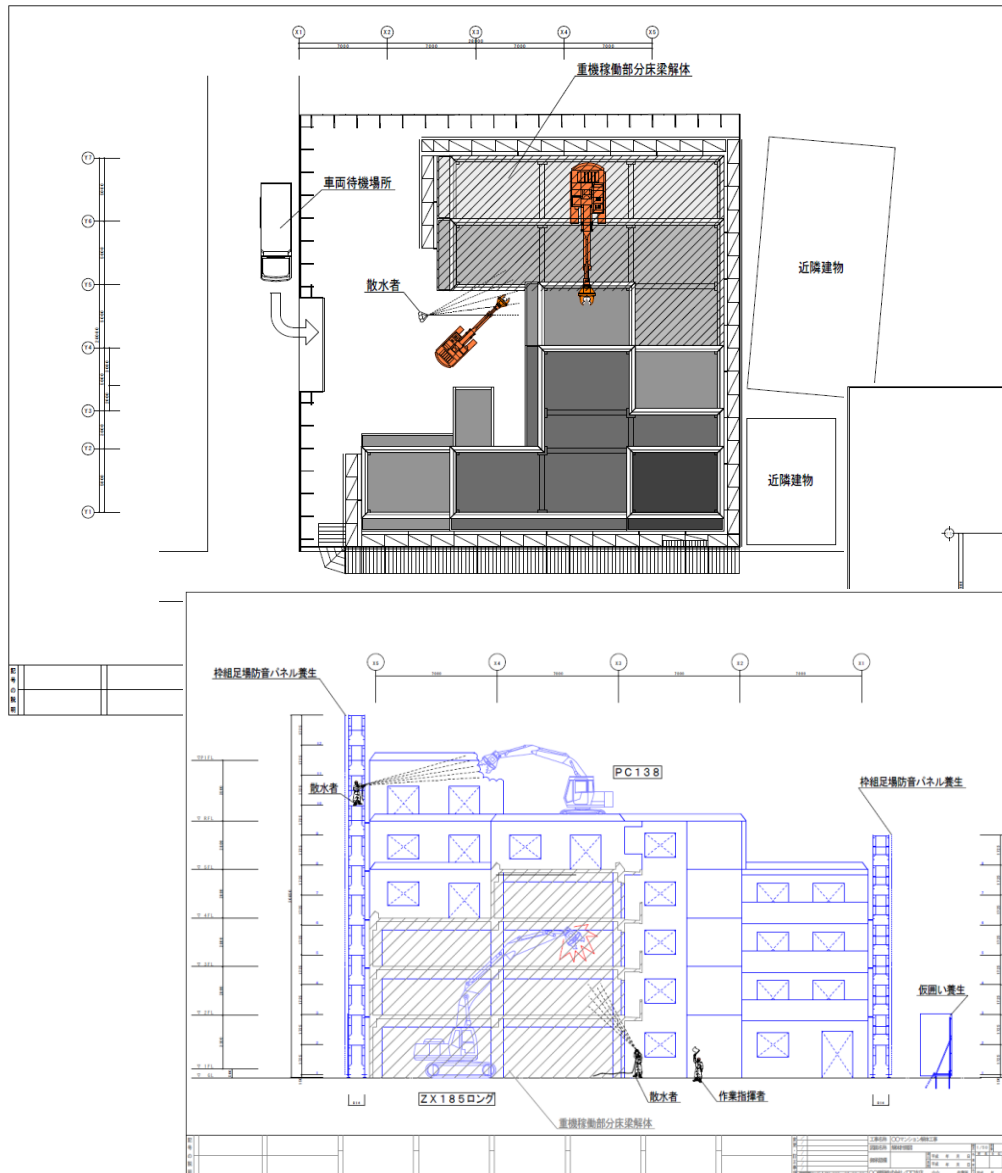
掛け平米集計イメージ

枠番号	枠幅	工区番号	使用段	面積 (㎡)
2	914	1	1 ~ 8	127.573
3	914	1	1 ~ 11	520.841
6	914	1	1 ~ 5	211.311
7	914	1	1 ~ 11	436.902
9	914	1	1 ~ 5	64.198
合計				1360.825

掛け平米印刷イメージ(一部)

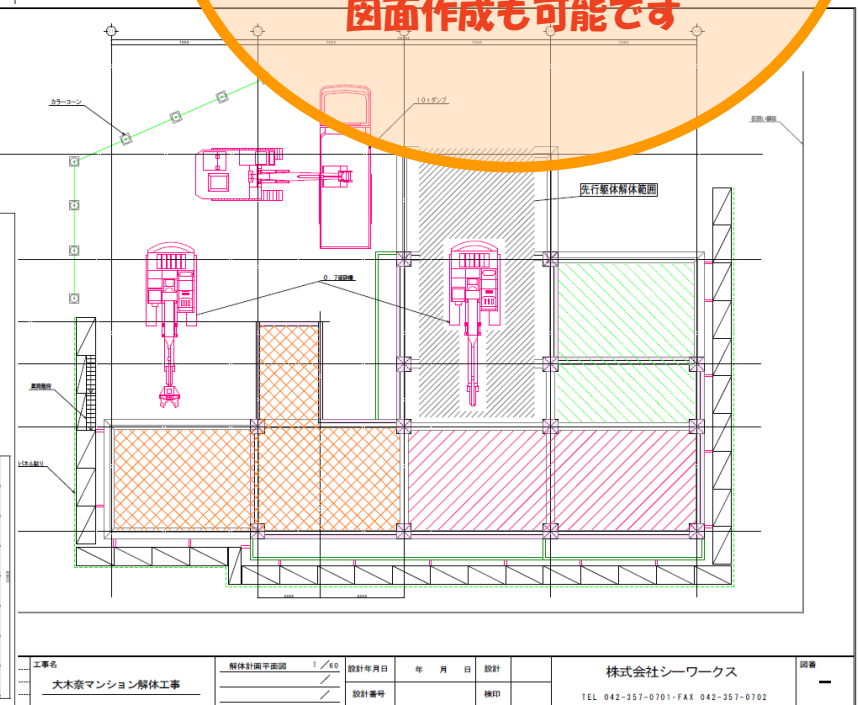
足場No	工区	開始段数	終了段数	掛け面積 (㎡)
2	1	1	8	127.573
3	1	1	11	520.841
6	1	1	5	211.311
7	1	1	11	436.902
9	1	1	5	64.198
小計				1360.825
合計				1360.825

2次元CADシステムもセットで、任意の図面作成も可能



枠組足場仮設計画システムから
平面、立面、断面図を自動作図。
足場寸法も自動作図されます。

2次元CADシステムもセットで
任意の追加修正、
図面作成も可能です



足場の強度計算書を作成可能

足場の強度計算が可能です。画面を見ながらすすめていくと、
風荷重、鉛直荷重の強度計算書を作成できます。

枠組足場 強度計算書作成案内画面イメージ

風荷重の計算①

基準風速 V_0 (m/s)
◦ 14 ◦ 16 ◦ 18 ◦ 20 ◦ 25 ◦ 30

台風時刻増倍係数 K_e
◦ 1.0 ◦ 1.1 ◦ 1.2 ◦ 1.3

地域区分
◦ I 海岸・海上 ◦ IV 一般市街地
◦ II 草原・田園 ◦ V 大都市市街地
◦ III 郊外・森

地域名

基準風速一覧

風荷重参考資料

☐ 近接高層建築物による影響を受ける。
建築物の高さ H (m)
建築物までの至近距離
建築物の風向係数
増倍係数 E_d

崖・傾斜等による小地形による
☒ 第1構面による第2構面の風力増大係数 E_d

壁つなぎ許容耐力 (kgf)
連結ピン許容引張力 (kgf)
作業荷重 (kg)
作業荷重層数
建枠配置段数

☒ アカギを配置する
アカギ荷重 (kg)
アカギ長さ (mm)
アカギ角度
アカギ取付高
アカギ部分壁つなぎ

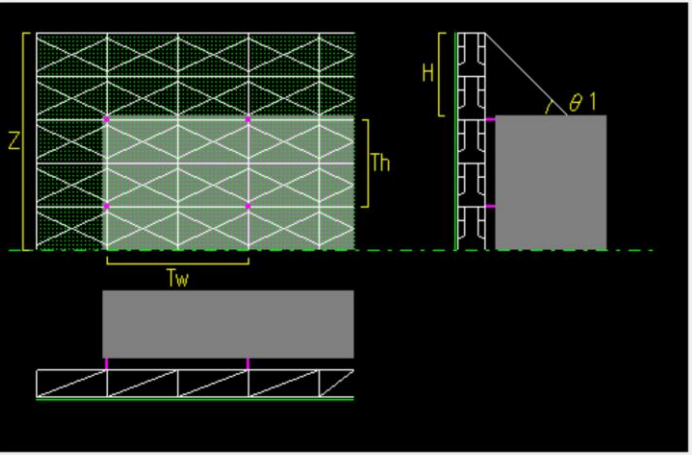
☐ 頬杖式 ☐ 吊下式

その他名称 重量 数量

建枠	A-3055A	手摺柱	A25			
布板1	SKN6	手摺	A31			
布板2	BKN624	手摺段数	0			
フリース	A14	階段枠	KW6525			
アムロック	A127A	階段手摺	55tYPE			
連結ピン	A20	階段数量	4			
ジャッキベース	A752S	開口部手摺	SG-918			
防護材	防音シート	開口部数量	4			

幅木単位荷重 Kg/m

風荷重の計算②



最上部高さ Z (mm)
壁つなぎ横負担幅 T_w (mm)
壁つなぎ縦負担幅 T_h (mm)
最上部横負担幅 (mm)
最上部縦負担幅 (mm)
☒ 突出部に控えを設ける
控え設置角 $\theta 1$ (度)
最上部壁つなぎから足場上部までの高さ H (mm)
☒ 側端部は安全措置を行うので検討しない
☐ 控えを設けず検討
☐ 控えを設けて検討
側端部出幅 L_t (mm)
控え設置角 $\theta 2$ (度)

☐ シート ☐ ネット ☐ 防音パネル

充実率 ϕ (シート、防音パネルの場合は1、貼らない場合は0)

壁つなぎコメント入力

☐ 足場の一部に取り付ける
☐ 空中に設ける
☒ 地上から設置

防護材横幅 (mm)
縦幅 (mm)
(防護材未使用の場合、設置枠の幅、高さを入力)

設計風速等の確認

側端部 ☐ OK

壁つなぎ等 ☐ OK

戻る 印刷

仮設強度計算書作成 印刷イメージ

ジャッキベースの検討

1. 建枠段数

建枠段数 = 10 段

2. 荷重条件

建枠	13.60×10/2	= 68.00 kg
布板 1	17.60×10/2	= 88.00 kg
布板 2	9.10×10/2	= 45.50 kg
幅木	3.00×1.829×10	= 54.87 kg
ブレース	4.20×10	= 42.00 kg
連結ピン	0.52×10	= 5.20 kg
アームロッド	0.45×10	= 4.50 kg
手摺柱	2.70×1	= 2.70 kg
手摺材	2.20×24	= 52.80 kg
階段枠	34.00×24/2	= 408.00 kg
階段手摺	14.80×24/2	
開口部手摺	14.80×24/2	
アサガオ	100.00×1	
防護材	0.5×1.829×17.25	

固定荷重 = 1243.81 (kg)
積載荷重 = 370×2層/

3. ジャッキベースの検討

ジャッキベースの許容荷重 = 2500.00
N = 固定荷重 + 積載荷重 = 1243

建枠の風荷重の検討

9. 設計風速

$$V_z = V_0 \times K_e \times S \times E_B \times E_g = 14 \times 1.00 \times 1.25 \times 1.00 \times 1.00 = 17.50 \text{ (m/s)}$$

V_z : 地上Zにおける風速 (m/sec)
(〇〇県〇〇市)

V_0 : 基準風速
 K_e : 台風時刻増倍係数
 S : 瞬間風速分布係数
 E_B : 近接高層建築物による割増係数
 E_g : 崖・傾斜等による小地形による影響係数

・瞬間風速分布係数
地域区分: 一般市街地
足場高さ: 17.500 (m)
 $\therefore S =$ 表より 1.250

10. 設計用速度圧

$$q_z = V_z^2 / 16 = 17.50^2 / 16 = 19.14 \text{ (kg/m}^2\text{)}$$

建枠の風荷重の検討

1.1. 風力係数

最上部突出部での風力係数 $C_1 = (0.11 + 0.09 \times \gamma + 0.945 \times C_0 \times R) \times F_1 = 1.26$
一般部分の風力係数 $C_2 = (0.11 + 0.09 \times \gamma + 0.945 \times C_0 \times R) \times F_2 = 1.66$

γ : 第2構面風力低減係数
 C_0 : 基本風力係数
 R : 縦横比による形状補正係数
 F_1 : 併設足場の設置位置による補正係数 (最上部突出部)
 F_2 : 併設足場の設置位置による補正係数 (一般部分)

・防護材充実率 $\phi = 1.0000$
・第2構面風力低減係数
 $\gamma = 1 - \phi = 0.0000$

・併設足場の設置位置による補正係数

建枠の

このような書類が自動作成されます

7. 枠足

枠足設置状況
建枠寸法
高さ = 1700 (mm)
幅 = 914 (mm)

・足場最大部高さ
 $Z = 17.500 \text{ (m)}$

・壁つなぎ
縦負担幅 = 3.500 (m)
横負担幅 = 3.600 (m)

・落下物防護材
防音パネルを使用
充実率 $\phi = 1.0000$
防護材を地上から建上げる
防護材設置総高 = 17.500 (m)
防護材設置総幅 = 15.000 (m)

・突出部分について
最上部突出部分の高さ = 3.500 (m)
突出部に控えを45°で設置して検討する。

・側端部について
側端部については安全措置を設けるので検討を省く。

8. 使用部材の性能

壁つなぎ許容耐力	$f_k = 450$	(kgf)	$\approx 4410 \text{ (N)}$
脚柱ジョイント許容引張力	$f_h = 300$	(kgf)	$\approx 2940 \text{ (N)}$
単管断面積	$a = 3.62$	(cm ²)	
単管断面2次半径	$i = 1.63$	(cm)	
単管ヤング率	$E = 2100000$	(kgf/cm ²)	
単管質量	$m = 22.2$	(kg/m)	

アサガオによる壁つなぎの検討

1. 設計風速

$$V_z = V_0 \times K_e \times S \times E_B \times E_g = 14 \times 1.0 \times 1.19 \times 1.0 \times 1.0 = 16.7 \text{ (m/s)}$$

V_z : 地上Zにおける風速 (m/sec)

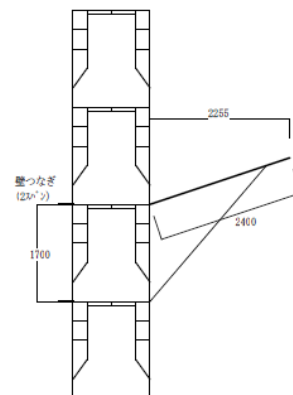
V_0 : 基準風速
 K_e : 台風時刻増倍係数
 S : 瞬間風速分布係数
 E_B : 近接高層建築物による割増係数
 E_g : 崖・傾斜等による小地形による影響係数

・瞬間風速分布係数
地域区分: 一般市街地
アサガオ高さ: 0.000 (m)
 $\therefore S =$ 表より 1.190

2. 設計用速度圧

$$q_z = V_z^2 / 16 = 16.7^2 / 16 = 17.4 \text{ (kg/m}^2\text{)}$$

概略図

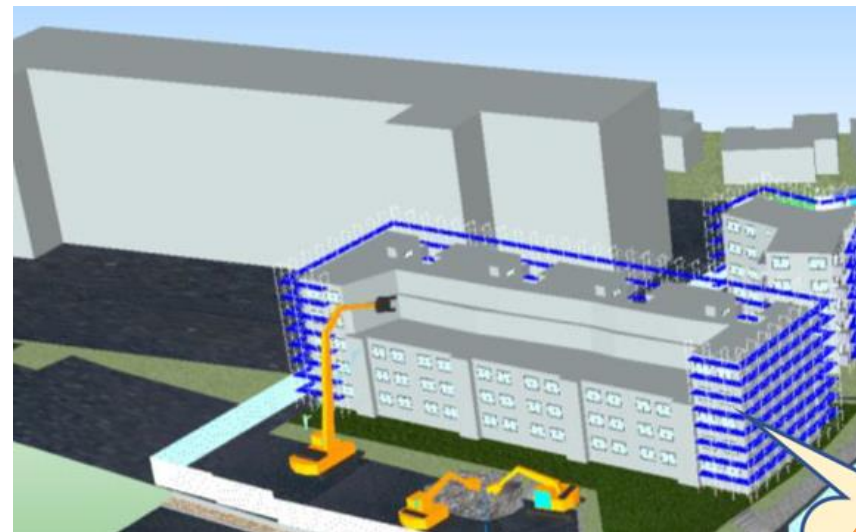


解体業パッケージ2パターンの躯体表現が可能

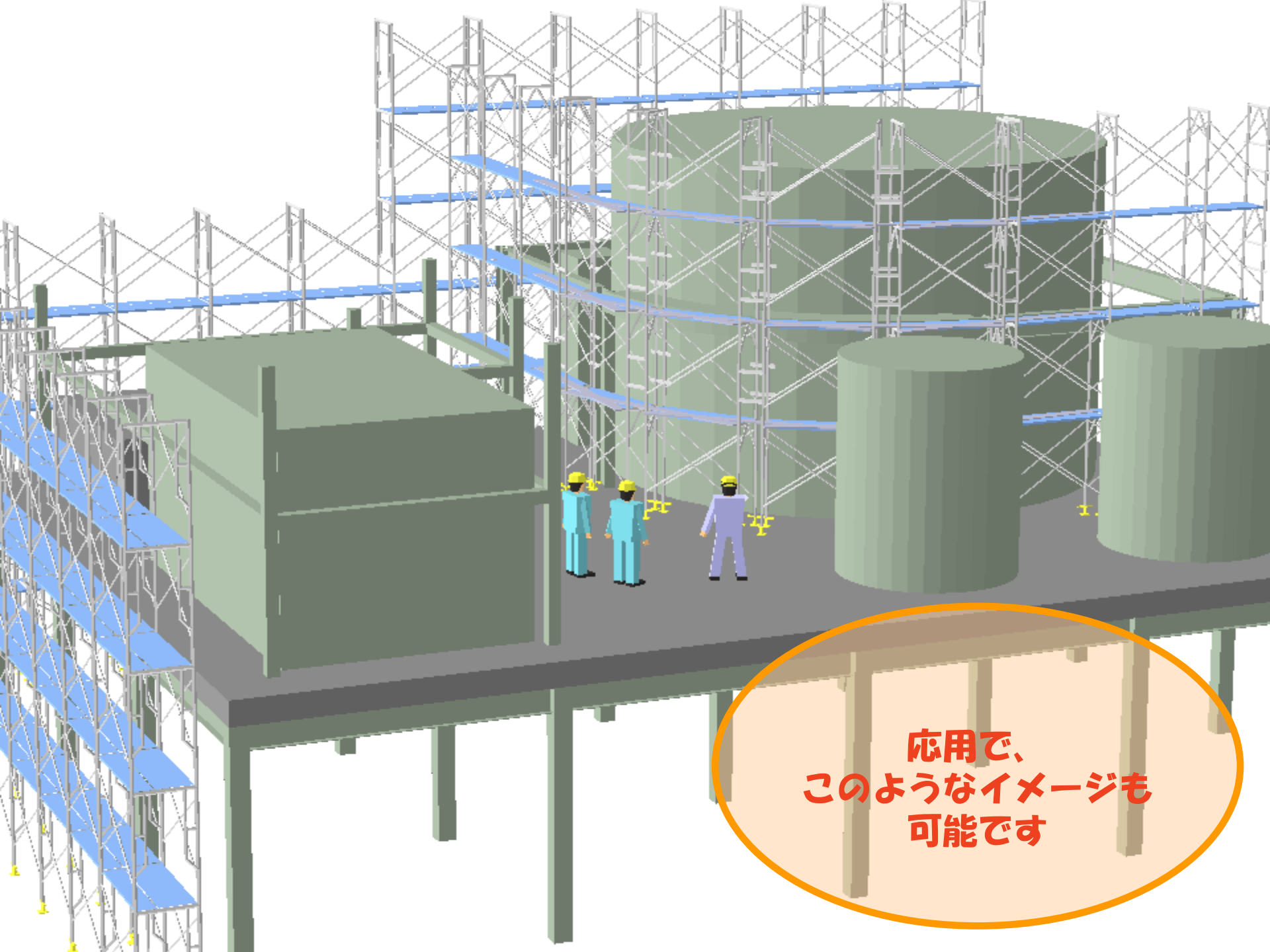
柱梁壁スラブ等での表現
リアルな解体切り欠き表現



建物の固まりで表現
簡易的な解体切り欠き表現



※表現されたい方法にて操作していただくことが可能です。

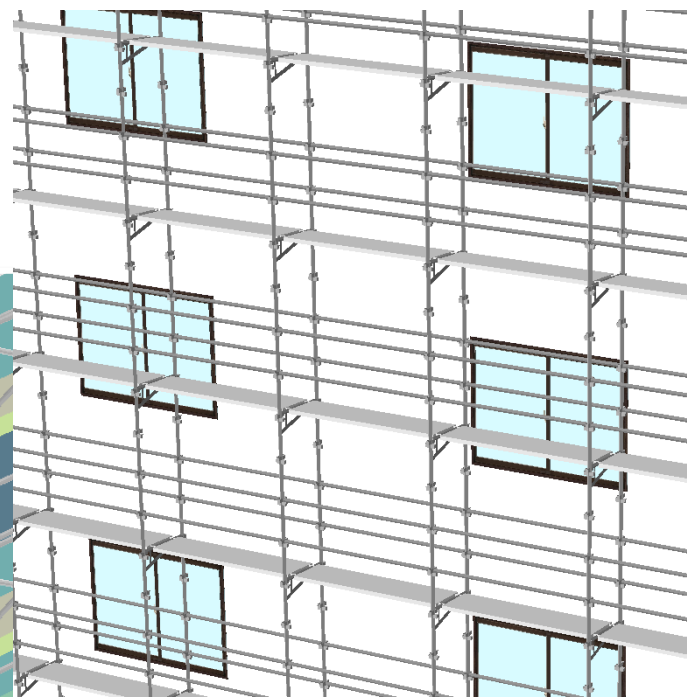
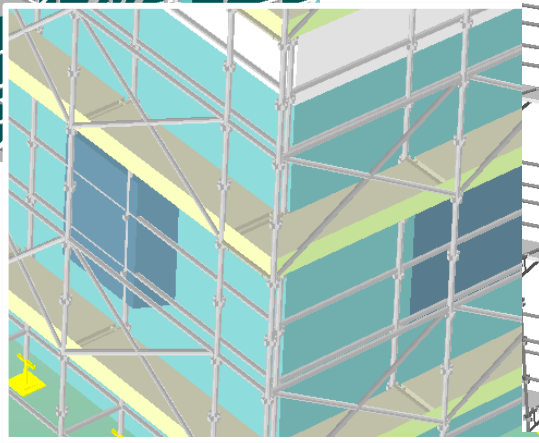
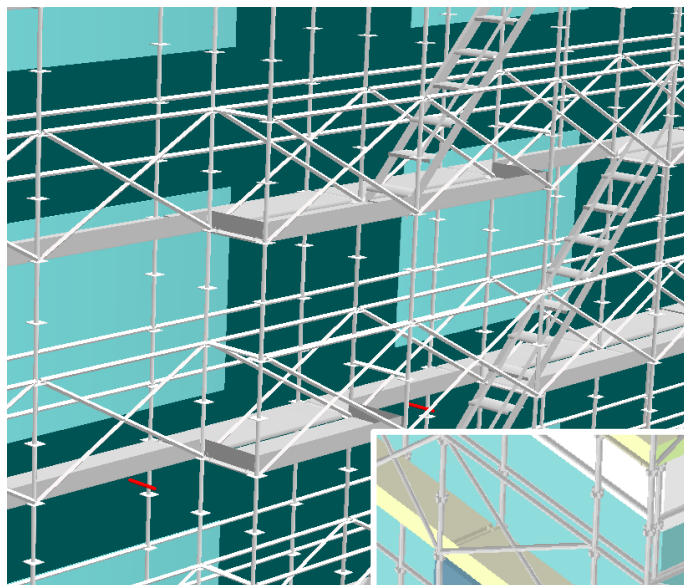


応用で、
このようなイメージも
可能です

※一側足場仮設計画システム追加イメージ

解体業パッケージで作成できる足場は、枠組足場となります。
下記のような、クサビ式足場、次世代足場でも行うようであれば、
一側足場仮設計画システムの追加が必要となります。

次世代足場やクサビ式の足場表現も
システム追加すれば可能に
足場の部材集計、平米集計も可能です。



解体業パッケージ 内訳

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| ●RC躯体図CADシステム | コンクリート躯体部分を作成、コンクリートボリューム算出 |
| ●桝組足場仮設計画CADシステム | 外壁、足場、環境部材を配置作成、足場数量算出 |
| ●3Dビューワーオプション | 物件に色をつけてどの角度からでも3Dパース作成可能 |
| ●施工図CADシステム | 2次元データでの編集 詳細図面作成も可能 |
| ●仮設強度計算システム | 桝組足場関連の計算書作成 |
| ●メンテナンスサポート | 1年間の保守サポート(次年度は更新) |
| ●10時間分の講習 | 訪問講習もしくはリモート講習で対応可能 |
| ○画像編集オプション | 斜めの紙図面も角度を補正して取り込み可能 |
| ○一側足場仮設計画CADシステム | クサビ式足場・次世代足場の部材配置、数量算出 |

●は解体業パッケージに含まれます。○はオプションとなります。

(講習については、お客様に合わせて別途ご提案いたします。)

※次年度以降もメンテナンスサポートを更新いただければ、残講習の延長対応が可能。

この機会に、当製品をご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。